

令和7年度

農高は新たな学びの場へ

農業基盤→生産→加工→流通販売の一貫教育が可能に！



なりたいが**見**つかる
やりたいを**深**める

北海道
倶知安農業高等学校

Hokkaido Kutchan Agricultural High School

School Guide



そうだ！ **農高**へ行こう！！



倶知安農高での学び

— 生産科学科 —



「農業基盤・生産・加工・流通販売」の一連の学びから **“なりたい”** が見つかる



自身の専門性を高めるコース選択から **“やりたい”** を深める

倶知安農高では専門性を高めるためのコース制を採用しています。1年次に共通科目で幅広い分野を学び、2年次からは生徒の興味・関心に合わせたコースを選択することができます。令和7年度入学生からは、これまでの生産加工・生活園芸両コースの学びを統合した“**アグリプロダクションコース**”と、農業基盤やスマート農業について学ぶ“**アグリベースコース**”の2コースへと変わります。これにより、従来の生産・加工・流通販売までの学びだけでなく、現代の農業経営に必要な農地の基盤整備の知識やそれらを分析・活用する情報技術についても学べるようになります。また、理系大学への進学も可能となり、多様な進路希望を実現することができるカリキュラムへと進化します。



農業高校
とは



Q. 農業高校で何が身につくの？

○農業高校では農業科目を中心に専門的・体験的・実践的な学びを多く取り入れることで、地域産業・地域社会の発展に貢献できる基本的知識や技能を身につけます。

Q. 農業しか勉強しないの？

○農業高校でも普通科高校と同様に、国語・数学・外国語・理科・社会等の普通教科を学びます。そのうえで、農業科目を1年次から学ぶことができます。

地域に学び地域と育つ

— 倶知安農業高等学校 —

地域と共に歩み その協働的な学びから “**なりたい**” が見つかる



農高にしかない“農ク”って？

農業クラブ

農業クラブでは農業を学ぶ高校生が未来の農業を支える人材に育つよう、次のような大会を全国規模で運営しています。全国には約8万人の農業クラブ員があり、農高生同士が切磋琢磨しています。本校は毎年、複数の大会で全道大会進出を果たすなど目覚ましい活躍を見せています。



地域交流

地域と連携し、食育活動やボランティア活動等を実施する。



意見発表

専門学習を生かした経験を基に自分の考えをまとめ、発表する。

R5農ク全道大会【意見発表】出場



技術競技

専門学習によって身につけた知識・技術の成果を競う。

R5農ク全国大会【鑑定競技】出場



実績発表発表

地域や産業の課題解決・発展に向けて、各専攻班に分かれて実践的な研究を行う。大学の研究のように、成果をまとめ、発表する。

R6農ク全道大会【実績発表】出場



新しい学びのスタイル

— 選択授業及びコース・専攻班選択 —

何を学ぶ？（令和7年度入学生教育課程表（案））

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1 年次	現代の 国語	言語文化	地理総合	数学Ⅰ	生物基礎	体育	保健	書道Ⅰ	英語 コミュニケーションⅠ	農業と環境	総合実習	農業と 情報	ベーシック スタディ	総探	LHR															
2 年次	プロダクション アグリベース	国語表現	公共	科学と 人間生活 数学Ⅱ	数学Aor 物理基礎 物理基礎	体育	保健	英語 コミュニケーションⅡ	家庭基礎	作物	課題研究	野菜	畜産	食品製造	総探	LHR														
3 年次	プロダクション アグリベース	国語表現	歴史総合	体育	論理 表現Ⅰ (英語)	選択A 数学Ⅱ	選択B 化学基礎	選択C	作物	農業経営	課題研究	農業選択	畜産	食品製造	総探	LHR														

Point

選べる になりたい・進路目標に合わせて、授業を選択！

「農業機械を動かせるようになりたい・地域資源を活用した商品開発を勉強したい・有機栽培について学びたい」、「4年制大学に進学したい・就職に向けた準備がしたい・英語力を高めたい…」それぞれの目標に合わせた幅広い科目選択が可能なカリキュラムになります。

2年次以降は選んだコースに関わらず、4つの専攻班から一つを選び、生徒の**やりたい**を深めることができます。自分自身の卒業後の進路に合わせた、授業を選択することができます。

選択 A：地学基礎 or 総合体育
 選択 B：実用国語 or 地理探究 or 化学基礎
 選択 C：時事問題研究 or 数学A or 総合技能英語
 農業選択：農業機械 or 生物活用 or 地域資源活用
 の中から、それぞれ選択！

選べる学びの組み合わせは
自由自在∞

作物班

畜産班

加工班

環境班

アグリプロダクションコース

生産→加工→流通・販売の
一連の流れを体験することで
創造力や感性を育成します

野菜栽培・畜産・食品加工を中心に学習します。次世代の農業を学ぶため、地元企業と連携するほか、有機農業やJGAP認証についても学びます。生産したトマトや大豆・肉類は、トマトジュース・味噌・ソーセージ等へと加工し、販売します。「生産する」だけではない農業の奥深さを学ぶことが出来ます。



アグリベースコース

農業を営む上で根底となる
土壌改良・基盤整備を通して
科学性や技術力を育成します

次世代の農業経営を身に付けるために、農場の基盤整備、土壌改良、環境を中心に学習します。科学的・数学的思考、情報処理技術を高めることで、現代のスマート農業に対応できる基礎力を身に付けます。有機農業など特別栽培に関わる土壌改良や農地整備についても学びます。



全コース共通の学び

安心・安全で良質な作物の
栽培から販売まで
一連の流れを体験的に学ぶ

日本の食「水稻」を学び
台湾研修で国際感覚を養い
グローバルな視野を広げる



Point 1 水稻と野菜の栽培から販売までを一貫して**体験的**に学ぶ！ $1 \times 2 \times 3 = 6$ 次産業を体験する



栽培・加工・流通販売までの**仕組み**を学ぶ！

本校では1年次に「農業と環境」という授業でカボチャの栽培を学び、栽培から収穫までの一連の流れを体験します。また、そこで学んだ内容を発表する体験を通して、2年次以降の専攻班による研究の仕方を体験的に学んでいきます。年数回行われる「農高のおみせ」では、お店の販売員として販売体験をすることで、生産者としてだけでなく、事業者としての視点も学ぶ事ができます。この1年次での学びから自身の「なりたい」・「やりたい」の方向性を考え、2年次以降のコース選択及び専攻班の選択を決めていくことができます。

Point 2 **グローバルな視点**を身に付け、これからの**日本**を考える！



日本の農業だけでなく**グローバル社会**を体験する

倶知安町はニセコ・ひらふエリアを中心にグローバル化が進んでいます。そこで、令和7年度より、水稻の生産について共通で学ぶことで日本人のアイデンティティや食文化を考えるとともに、英語に触れる機会を多く取り入れたカリキュラムに変更します。また、令和8年度の見学旅行からは台湾の視察研修を実施することで、実際に国際社会を体験するとともに、海外における日本の技術がどのように利用されているかを実際に学ぶ機会を設けます。

Point 3 稲作を通じて**持続可能な社会の発展**を考える！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



日本人の食の基本となる**お米**を学ぶ！

持続可能な社会の発展の実現を目指す**循環型農業**を体験する

本校では北海道米の代表として「ななつぼし」、日本酒を造るための酒米、SDGs米の代表として「えみまる」の3品種を栽培しています。異なる品種を育て違いを学ぶだけでなく、SDGsの観点も取り入れることで、持続可能な社会の発展の実現に向けたこれからの日本の農業についても学ぶ事ができます。

※えみまる：農作業の省力化と美味しさの両立を目指した北海道生まれのお米の品種です。直播・高密度播種などで育苗工程を省力化し、環境にやさしいお米といわれています。本校はヤンマーと連携し密苗栽培でえみまるを育てています。

R5 卒業生から皆さんへのメッセージ



山内 彩花(畜産班)
帯広畜産大学進学



在学中の写真

私は帯広畜産大学に進学し、畜産を学んでいます。倶知安農業高校へ進学した理由は将来、動物と関わる仕事に就きたいと考えていたからです。ですが、私の家は非農家だったので、入学当初は農業に全く興味がありませんでした。授業を通して農業の楽しさを知ったのです。農高では1年生の時から地域の人々に自分たちが生産したものを販売する「農高のおみせ」の実習があります。そこで、お客様の笑顔や喜んでいる様子を間近で見て、「農業ってこんなに楽しいんだ。」と農業のイメージが変わりました。

2年生から始まる専攻班では畜産班に所属し、和牛について学んでいました。自分がやりたかった動物の実習が楽しくて、活動を通して積極的に行動する力が身につきました。また、活動で道内だけでなく、北陸や福島県など様々な場所で発表をする機会があったので、人前で発表する楽しさやそれに向けて資料を作成する力が身につきました。

中学生の頃、私は学校を休みがちでした。ですが、農高に入ってから友達や先生にも恵まれ、毎日楽しく学校に通い、大学進学まで目指すようになりました。倶知安農業高校では、普通高校では体験できないようなことがたくさんあります。まだやりたいことが決まっていなくても、自分の好きなこと、得意なことを見つけるチャンスがたくさんある高校です。

最後に皆さんの進路活動が素敵なものになるよう、応援しています。



守屋 さくら(生活班)
ルピシア・グルマン就職

私は今、地元で接客業をしています。倶知安農業高校は授業や実習で地域の方や地元の小学生との交流が多くあり、授業をとおして社交性や積極性を高めることができたと思います。また、実習の中には実際に自分たちが育てた作物や加工品を販売する販売実習があります。お客様が喜んで商品を買って行く姿を見ると、とてもやりがいを感じることがができます。また、次も来たいと思ってもらえるためにはどんな接客をしたら良いかを考える力も身につき、今の仕事でも役立っていると感じます。

倶知安農業高校は他の学校と比べると人数の少ない学校ですが、人数が少ないからこそ、一人一人の活躍する場面が多く、色々なことに挑戦できて自分の強みや自信を増やすことができます。皆さんも倶知安農業高校で充実した高校生活を送ってみませんか？



鈴木 鼓響(作物班)
北海道職員B区分採用

私は高校在学中に作物班で、稲作や畑作を中心に学んでいました。私は一年の頃から生徒会執行部として活動していたこともあり、学校の行事や各種イベントで地域の方々と接する機会が多くありました。他校との交流もあったので他校の人々とも繋がりができ、楽しい学生生活を送ることができました。

現在、私は北海道職員として倶知安町にある後志総合振興局で働いています。入庁日からたくさんの方に「倶知安農業高校にいた子だよ」と声をかけてもらえ、学生生活で培った人とのつながりが今も役立っています。

倶知安農業高校では農業の専門知識を学べることはもちろんですが、積極的に行動することでたくさんの方と出会う機会を得ることができます。そして、身についた自分の強みや武器を理解することで、高校生活はもちろん高校卒業後も充実した生活を送れると思います。みなさんの進路活動を応援しています。



北海道倶知安農業高等学校

〒044-0083 北海道虻田郡倶知安町字旭15番地

TEL

【事務室】0136-22-1148
【職員室】0136-22-1149

FAX

0136-22-2252

WEB

<http://www.kucchannougyou.hokkaido-c.ed.jp>

